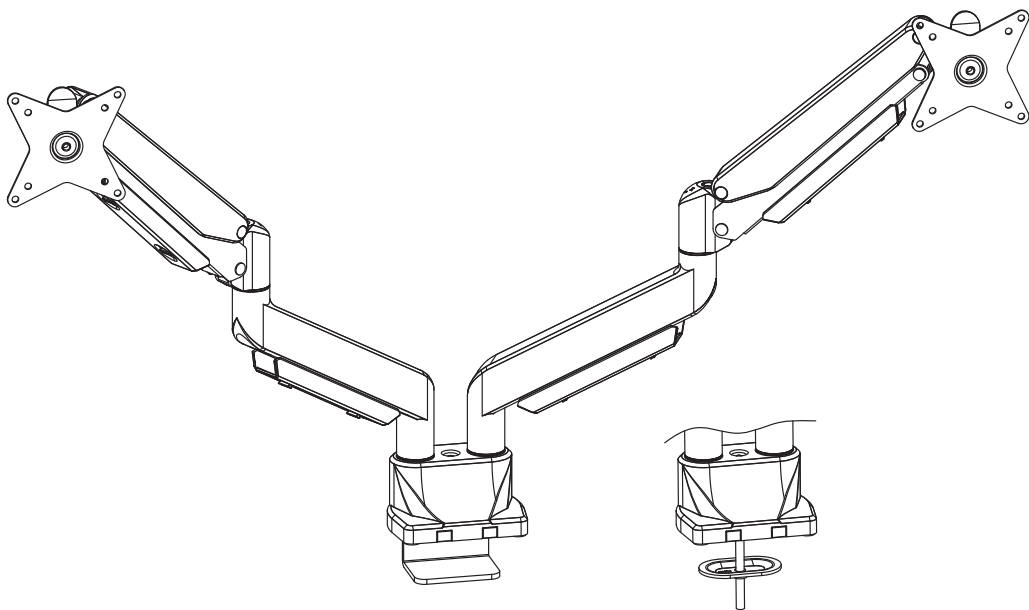


モニターアーム 組立説明書

K01-2C



- この度は、モニターアーム「K01-2C」（以下当社製品）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
- この取扱説明書では、当社製品の使用方法や安全にお取扱いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用前によくご覧ください。この取扱説明書は大切に保管してください。

安心の5年保証

延長保証は下記にてご連絡ください!



LINE

- 延長保証(1年→5年)
- アフターサービス
- お問い合わせ

何か問題や確認したいことがございましたら、公式LINEで出品者と連絡を取りましょう。



WEBサイト

- 延長保証(1年→5年)
- ご利用ガイド
- Q&A(よくある質問)
- サポート情報
- お問い合わせ

WEBサイトで出品者と連絡を取り、サポート情報や延長保証をGET!

何か問題や確認したいことがございましたら、お気軽にご連絡ください。



LINE: @639zkmib



WEBサイト: <https://www.exljzdp.com>



E-mail: Exlizdp-service@outlook.com

安全上のご注意

- 1 本製品には小さい部品が含まれています。小さなお子様が進み込まないよう、手の届かないところに保管してください。
- 2 本製品を装着するデスクの天板の強度が長時間でモニターを取り付けた本製品に耐えられることをご確認のうえ、設置してください。不安定なところや振動が発生しやすい場所に設置しないでください。
- 3 アームの可動部に指や手を挟み込まないよう注意してください。
- 4 各部品を取り付ける際は、固定用のネジなどがしっかり固定されて、アームやモニターも確実に取付けたことを確認してください。ただ、強度調節用のネジは強く締めすぎないでください。
- 5 取り付けたいモニターの重量が本製品の耐荷重範囲内（最大15kg）であることをご確認のうえ、お使いください。
- 6 モニターの取付けに適したネジの長さは各ディスプレイによって異なります。長すぎるとモニターを壊す可能性があります。また、短すぎるとモニターがしっかりと固定できず、脱落する恐れがあります。必ずモニターの取扱説明書や、メーカーへの問い合わせなどでご確認の上、取付用のネジを用意してください。
- 7 モニターの落下によるけがなどの事故や故障を防ぐため、モニターの取り付け作業は二人以上で行うのを勧めます。
- 8 使用中にアームやモニターの動きに緩みやガタツキが生じた場合は、締め具でしっかり締め直してください。異常のまま使用しますと、モニターの転倒や落下により、けがや故障の原因となります。定期的なメンテナンスを実施することをお勧めします。
- 9 落下する恐れがあるため、モニターを天板の外にでる状態での使用は避けてください。
- 10 不当な組み立てや使用により生じた事故や損害については、弊社は責任を負いません。

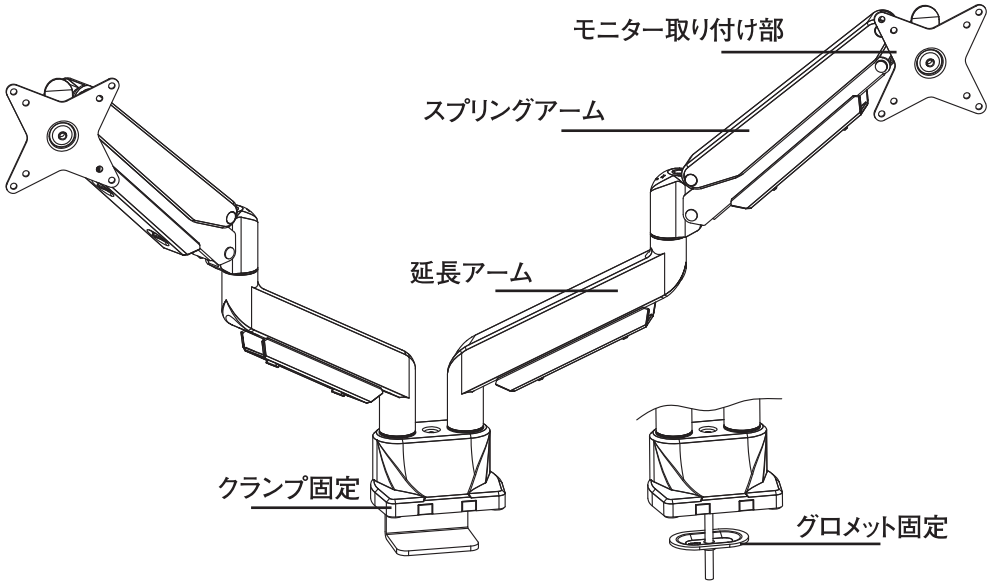
製品仕様

製品型番	モニターアーム K01-2C	本体材質	アルミニウム合金
耐荷重	約3kg～15kg 各アーム	対応VESAサイズ	75*75 100*100対応可
対応天板の厚さ	10mm～50mm (クランプ固定の場合) 10mm～80mm (グロメット固定の場合)	対応モニターサイズ	最大約37インチ

可動範囲

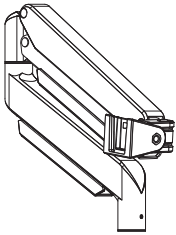
延長アーム	360°(※天板の外にディスプレイが出る状態では使用しないでください。)	スプリングアーム	360°
モニター	上下:上90°～下90°;左右:180°;回り:360		

完成図・各部の名称

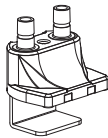


組み立てキット

※部品の欠品や破損があった場合は、品番(K01-2C)と下記の部品番号と部品名をお知らせください。



アーム×2本



クランプ
固定支柱×1個



モニターブラ
ケット×2個



固定用
プレート×1個



グロメットボルト×1本
(M8×150)



5mm



3mm



ボルトA×8本
(M4×12)



ボルトB×8本
(M4×16)



ボルトC×8本
(M5×12)



ボルトD×8本
(M5×16)



クッションシートE×4枚



プラスチックワッシャーF×4枚

組み立て手順

※デスクの天板の強度が長時間でモニターを取り付けた本製品に耐えられることを確認してから、お使いください。

1 支柱を取付ける

クランプで取付ける場合

(厚さ10mmから50mmまでの天板対応可、天板の穴の直径が50mmより大きい場合でも対応可)

① クランプを広げます。

天板の厚さによって適当な高さに調整します。

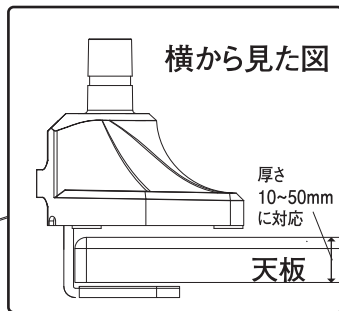
六角レンチ(大5mm)

六角レンチ(大5mm)

時計回り

反時計回り

クランプ固定支柱



② 天板に差し込み、上のボルトを時計回りに回して、天板にしっかり固定する。

グロメットで取付ける場合 (穴の直径10mm以上対応可)

※グロメットで取付けるのは取付け跡が残りやすいため、穴の直径が60mmより大きい場合はクランプで取付けるのをお勧めします。

六角レンチ(大5mm)

六角レンチ(大5mm)

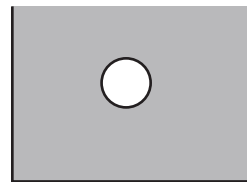
反時計回り

グロメットボルト
M8*150

時計回り

グロメットボルト

固定用プレート



天板の穴について:

直径8.5~60mmまで対応可能ですが、直径8.5~30mmの範囲内を推奨します。

① クランプ下部を取外します。

※取外したボルトとクランプ下部は使用しません。

② クランプを固定用プレートで固定します。

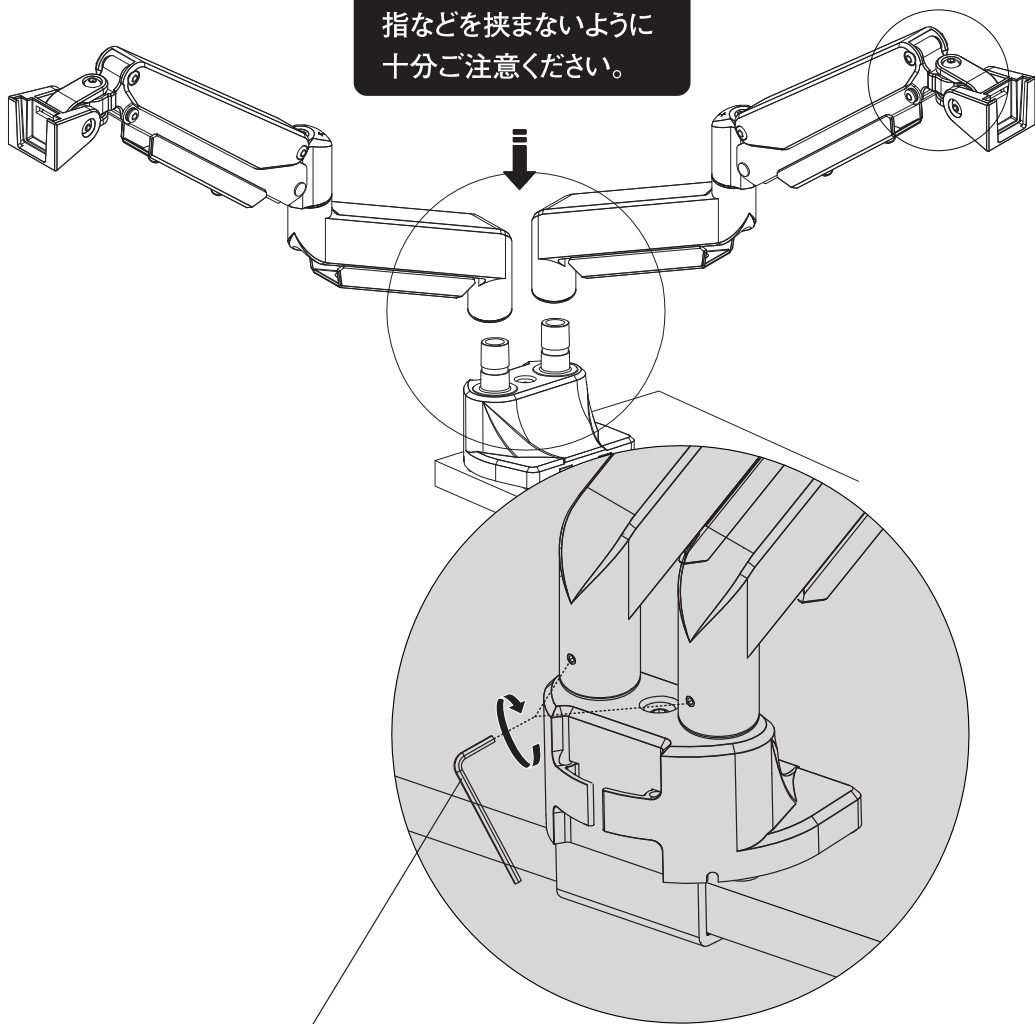
部品の「固定用プレート」・「グロメットボルト1本」を用意する。

② アームを取付ける

アームを支柱上部に差し込む。アームを回してみ、安定していることを確認する。

⚠ 注意

指などを挟まないように
十分ご注意ください。



アームの動きの摩擦力を調節する

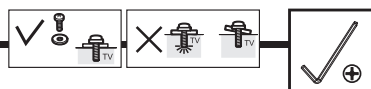
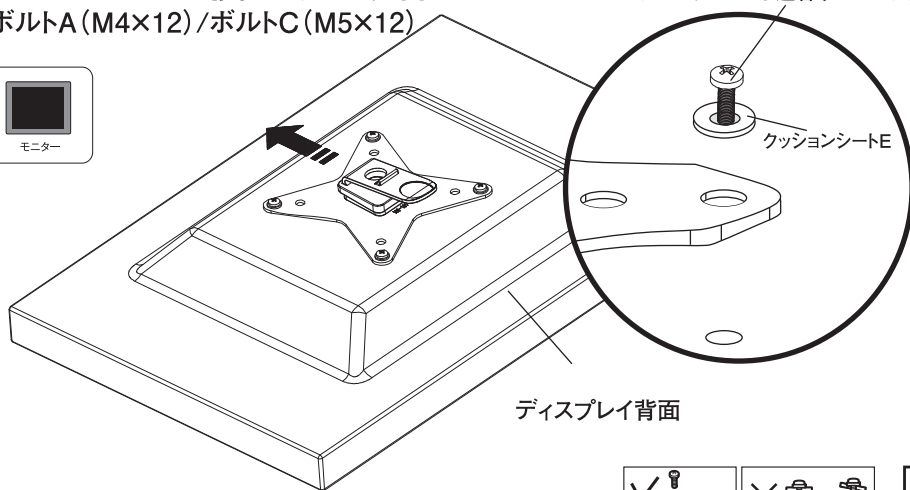
付属六角レンチ(小3mm)のほうでアームの下部にあるネジを回す。時計回りは「摩擦力+」で、反時計回りは「摩擦力-」である。回りすぎないで、適当に回してください。

③ ディスプレーを取付ける (VESA規格75*75mmと100*100mm対応可)

- ※取付け可能なディスプレイの重量は3~15kgまでです。それ以外のディスプレイは絶対に取付けないでください。
- ※VESA規格でボルトを付属していますが、各モニターによって適當の長さが異なっています。長すぎるとモニターを壊す可能性があります。また、短すぎるとモニターがしっかりと固定できず、脱落する恐れがあります。
- ※毛布などを下に敷き、ディスプレイへの傷や破損に十分ご注意ください。
- ※必ずモニターの取扱説明書や、メーカーへの問い合わせなどでご確認の上、取付用のネジを用意してください。
- ※ディスプレイに付属しているスタンド類は取外してください。類の取外し方法はディスプレイの取扱説明書をご参照ください。

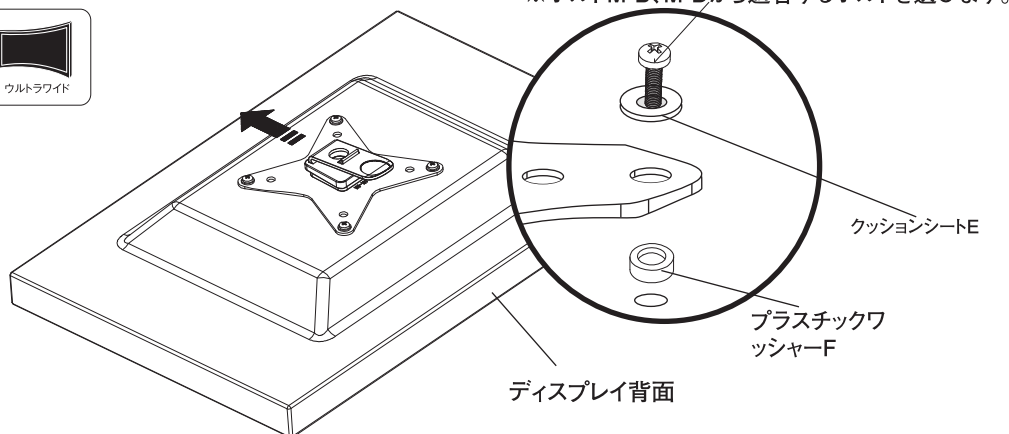
① 短いボルトを使用する場合

ボルトA (M4×12) / ボルトC (M5×12)



② 長いボルトを使用する場合

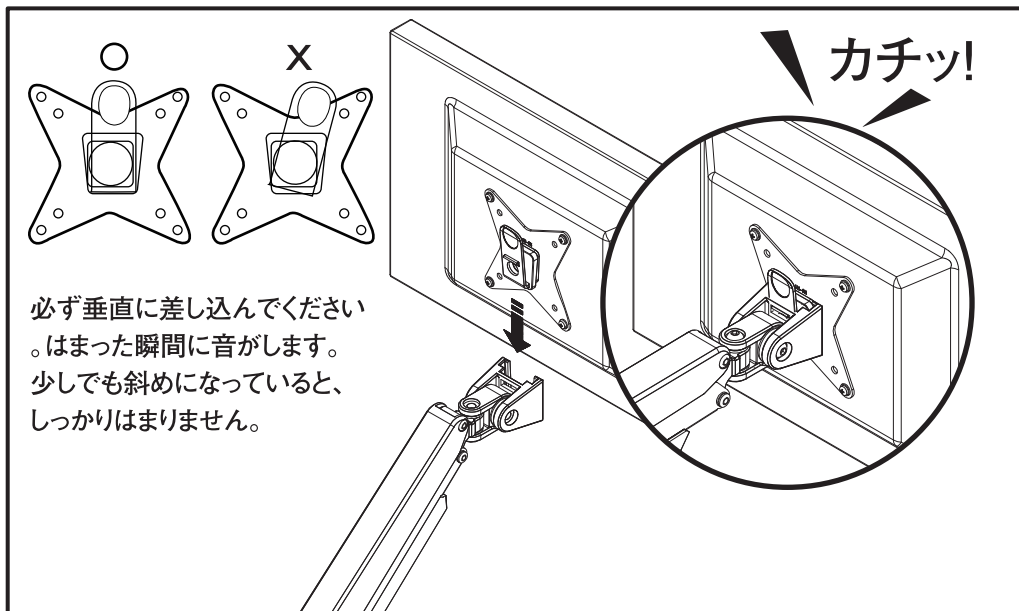
ボルトB (M4×16) / ボルトD (M5×16)



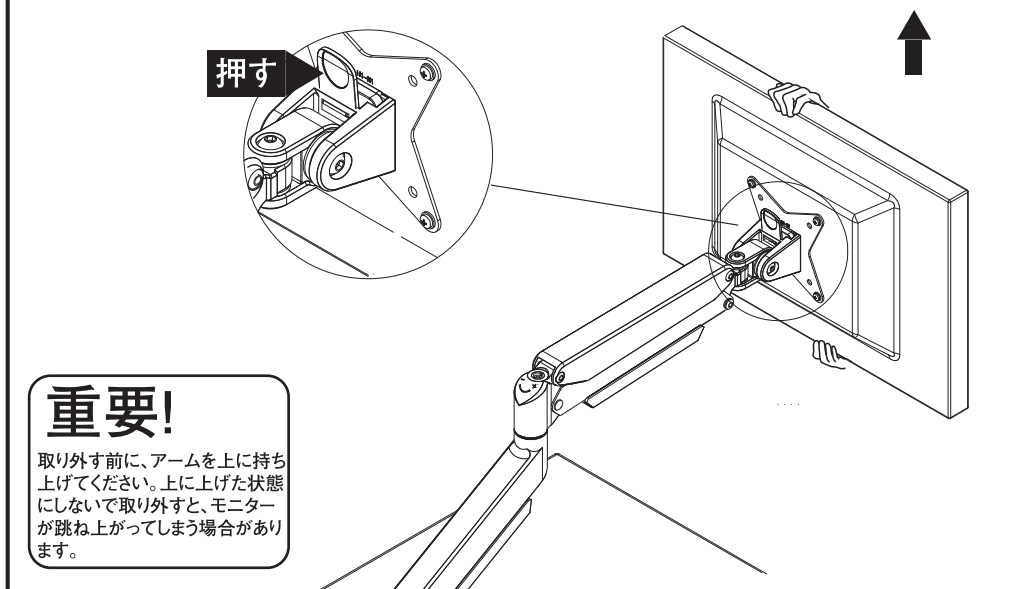
- ※ネジ穴ピッチ75mm×75mmの場合内側の穴を使います。
- ※ネジ穴ピッチ100mm×100mmの場合外側の穴を使います。

4

モニターをアームに取り付けます。



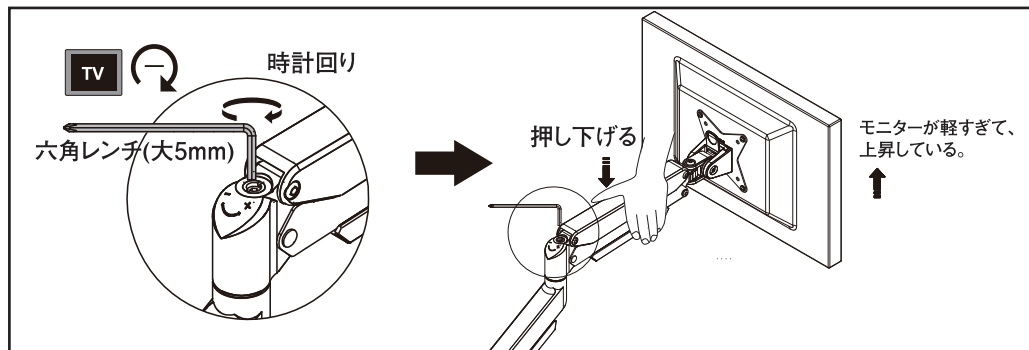
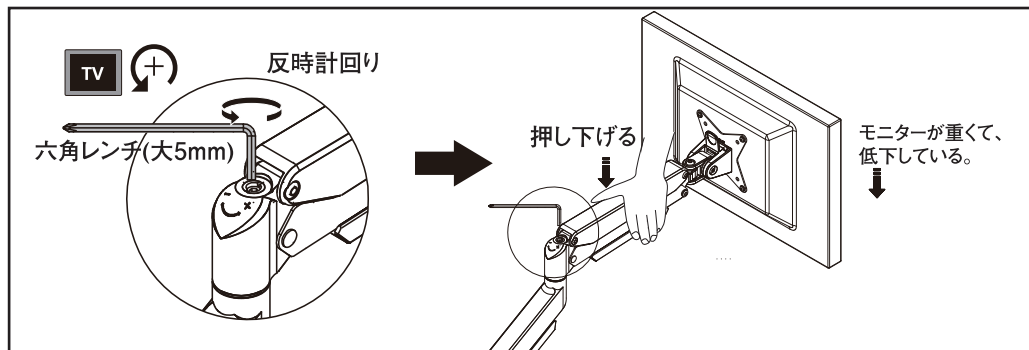
モニターをはずす場合は、モニターマウントプレートの上を押しながら、垂直にモニターを上へ抜いてください。



5 アーム各部の可動範囲、及び固さ調節方法

① スプリングアームの強度を調節する

モニターが重くて、下に下がって保持できない時はスプリングの強度を強めに調節する必要がある。逆にモニターを下に押ししても動けない時はスプリングの強度を弱めにする必要がある。調節方法:付属の六角レンチの長いほうでスプリングアームの上部にあるネジを回す。時計回りは「摩擦力-」で反時計回りは「摩擦力+」である。回りすぎないで、適当に回してください。

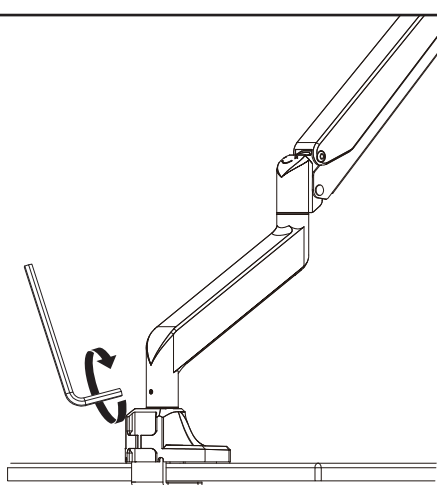


② アームの動きの摩擦力を調節する

付属六角レンチ(小3mm)のほうでアームの下部にあるネジを回す。

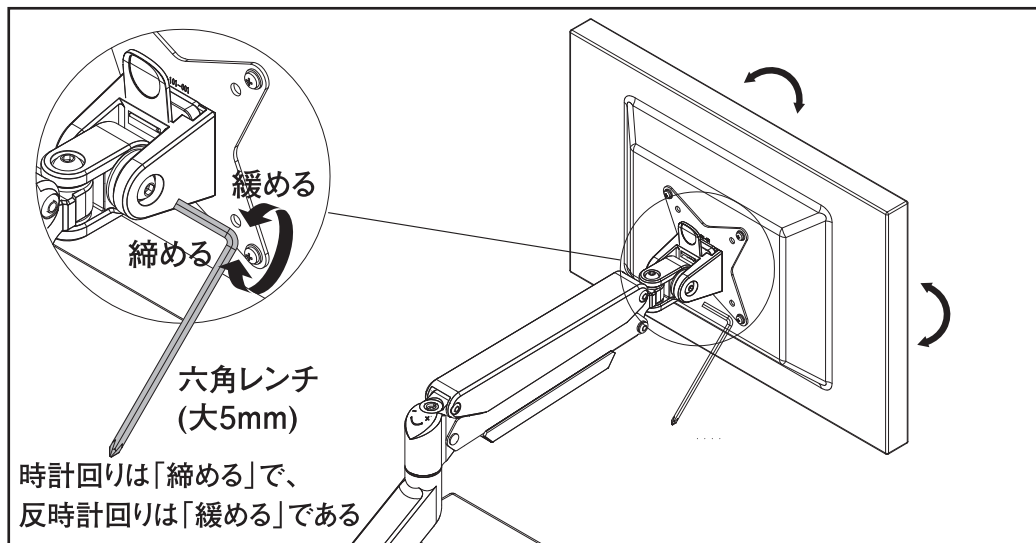
時計回りは摩擦力+で、反時計回りは摩擦力を-である。

回りすぎないで、適当に回してください。



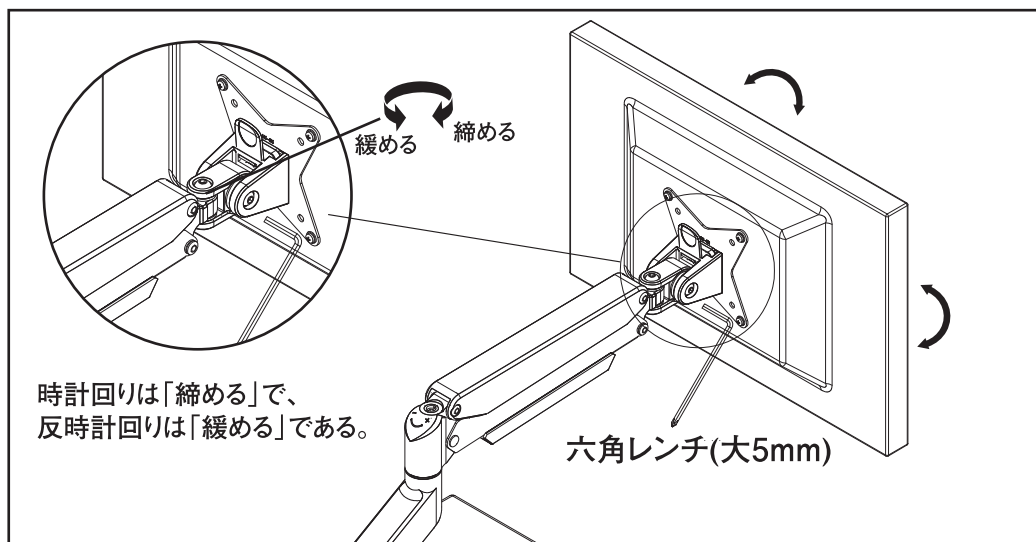
③ディスプレイのヘッドアップ/ヘッドダウンの摩擦力を調整する

アームの動きが軽すぎたり、重すぎる場合は六角レンチ(大5mm)でボルトを回して調節します。



④ディスプレイの左右の幅を調節する

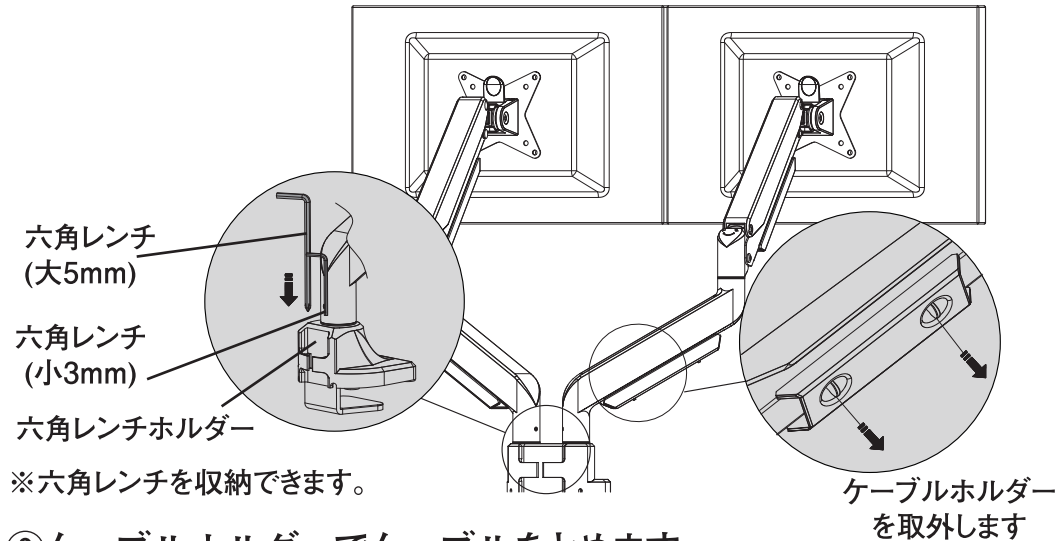
ディスプレイのヘッドアップ/ヘッドダウンの摩擦力を調整する



⑥ ケーブル受けにケーブルを通す

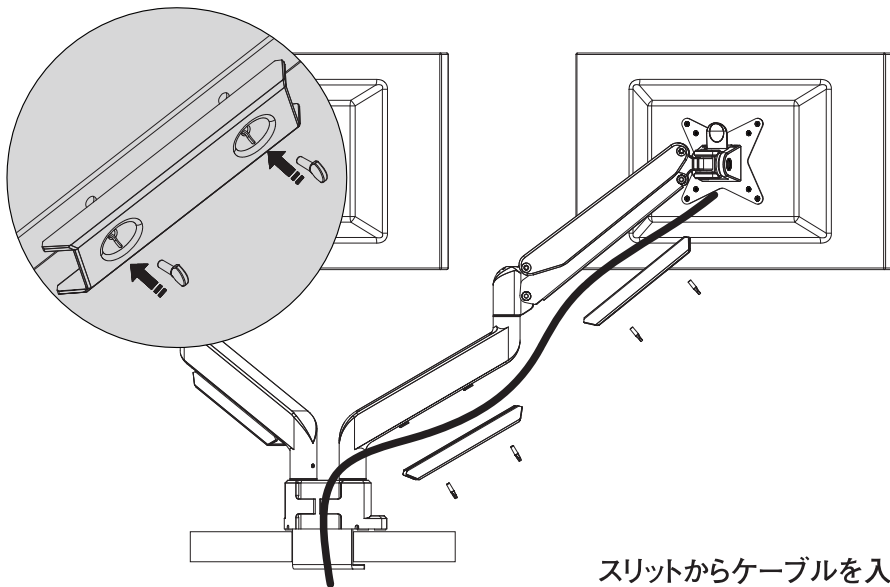
① アームからケーブルホルダーを外します

軽く回転してプラグを取り出します。



② ケーブルホルダーでケーブルをとめます。

軽く回転してプラグを取り付けます。



スリットからケーブルを入れます。

7 取付完成

ご使用中、装着するデスクの天板の状態を定期的にチェックしてください。また、製品固定用のネジなどがしっかり固定されて、アームやモニターが安定しているかどうかもお気をつけてください。

この度は弊社の製品をご購入いただき、誠にありがとうございました。

